

第4次常陸太田市男女共同参画推進計画(案)に関するパブリック・コメント結果と意見への回答

パブリック・コメントの実施概要

- 「第4次常陸太田市男女共同参画推進計画(案)」の策定にあたり、以下のとおりパブリック・コメントを実施しました。
ご意見をお寄せいただきありがとうございました。

資料の公表・意見の募集期間	令和8年2月21日(土)~令和8年3月22日(日)
公表資料	第4次常陸太田市男女共同参画推進計画(案)
資料の公表場所	少子化・人口減少対策課/広報広聴課/各支所/市ホームページ
提出方法	郵送、ファクシミリ、持参、電子メール
募集結果	1名の方から1件のご意見をいただきました
担当課	企画部 少子化・人口減少対策課 電話:0294-72-3111(代)

意見と回答

意見	回答
<p>1 私は、グローバルな視点および女性心理学を専攻した立場から意見を述べさせていただきます。</p> <p>まず、常陸太田市を含む地方都市と東京などの大都市圏では、男女に関する価値観や意識に一定の差があると感じております。特に「一定の年齢になったら結婚すべき」「女性はこうあるべき」といった従来型の固定観念が、都市部と比較して残っている印象があります。もちろん地域文化そのものを否定するものではありませんが、現代社会においては性別に関わらず、個々の長所を生かしながら柔軟に役割を選択できる環境づくりが重要であると考えます。</p> <p>現代は「適材適所・臨機応変」の時代であり、何より本人の意思を尊重することが重要だと考えます。私自身、小学生の頃に剣道や珠算を習いましたが、自分の強い意志というより周囲の判断によるものでした。経験を否定するものではありませんが、これからは「周囲が決める」のではなく「本人が選ぶ」ことが大切な時代です。また、現代ではすべてを一人で担う必要はありません。不得意な分野は専門家や外部サービスを活用することで、安全性や利便性を高めることができます。これは依存ではなく、適材適所による価値の最大化であり、時間的・経済的効率の向上につながります。資格の数よりも、自分の強みを生かし、他者と協働できるコミュニケーション能力こそが重要であると考えます。</p> <p>一例として、高齢の方が都市部（S市）を訪れた際、事前に一定の予算を預かり、宿泊・食事・観光計画・通信環境整備までを包括的にサポートした事例があります。その結果、詐欺や事故に遭うことなく、効率的に、かつガイドブックには載っていない体験を安心して楽しんでいただくことができました。このように、自身で対応が難しい部分を外</p>	<p>第4次常陸太田市男女共同参画推進計画（案）では、「基本目標Ⅰ 男女共同参画社会の実現に向けた環境整備」として、「男女共同参画やジェンダー平等についての理解と意識啓発の推進」「家庭や職場、地域活動等における固定的な性別役割分担意識の解消」などを施策の方向性に掲げ、年齢や性別などにより差別されることなく、その人権が尊重され、多様な生き方が選択できる社会の実現を目指すものとしております。</p> <p>今回いただいたご意見は、本計画が目標とする社会の実現のための貴重なご意見として参考とさせていただきます。</p>

部に委ねることで、より高い満足度と安全性が確保される社会モデルは、今後の地域社会においても参考になる視点であると考えます。

その観点から、常陸太田市においても、男女や LGBTQ を問わず、「自分はどのような場で価値を発揮できるのか」を再認識できる環境整備が、住みよい社会の実現につながると考えます。性別による役割固定ではなく、強みを生かし合う地域づくりが重要です。

近年のフォレストモール整備や国道 349 号沿線の開発、さらにはスターバックスや TSUTAYA の出店予定などは、特に女性の余暇活動の充実という観点から評価できる取組です。一方で、若年層（20～30 代）を惹きつける視点としては、那珂市の「りんねの湯」のような温浴・サウナ施設の整備も、交流・リフレッシュ拠点として有効であると考えます。

また、常陸太田市立図書館は開館から30年以上が経過しており、老朽化への対応とともに、高校生や若者がタブレット・スマートフォンを充電できる設備の整備、Wi-Fi 環境のさらなる充実が必要であると感じております。グローバル基準では、Wi-Fi と充電環境は基本的インフラであり、これらの整備は国際化推進および若者・外国人の呼び込みにも資するものと考えます。

以上、海外滞在経験を踏まえた客観的な視点から意見を述べさせていただきました。

性別にとらわれず、個々の価値を最大限に発揮できる環境整備を通じて、常陸太田市がより開かれた持続可能な地域となることを期待いたします。